

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

10986 U.S. PRO  
09/987672  
11/16/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年12月19日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-385852

出 願 人  
Applicant(s):

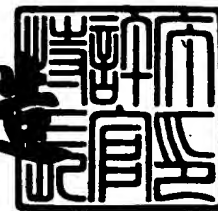
富士ゼロックス株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 8月 3日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3070061

【書類名】 特許願

【整理番号】 FE00-01519

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 埼玉県岩槻市府内 3 丁目 7 番 1 号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

【氏名】 鴻江 俊彰

【特許出願人】

【識別番号】 000005496

【氏名又は名称】 富士ゼロックス株式会社

【代理人】

【識別番号】 100071054

【弁理士】

【氏名又は名称】 木村 高久

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006460

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネットファクシミリ通信方法及びその装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくともインターネット網と電話網に接続し、受信した電子メールを指定されたファクシミリ装置にファックス送信する機能において、

ヘッダーと本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割して、転送先にファクシミリ送信することを特徴とするインターネットファクシミリ通信方法。

【請求項 2】 前記ヘッダーおよび前記本文のページサイズを、前記添付ファイルのページサイズに変更することを特徴とする請求項 1 記載のインターネットファクシミリ通信方法。

【請求項 3】 複数のファイルが添付されている際には、最初の該添付ファイルのページサイズに、前記ヘッダー、前記本文、他の前記添付ファイルのページサイズを変更することを特徴とする請求項 1 記載のインターネットファクシミリ通信方法。

【請求項 4】 前記ヘッダー、前記本文、前記添付ファイルのページサイズを、予め定められたページサイズに変更することを特徴とする請求項 1 記載のインターネットファクシミリ通信方法。

【請求項 5】 少なくともインターネット網と電話網に接続し、受信した電子メールを指定されたファクシミリ装置にファックス送信する機能において、

ヘッダーおよび本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割して、転送先にファックス送信することを特徴とするインターネットファクシミリ通信方法。

【請求項 6】 前記ヘッダー及び前記本文が同一のページに収まるように、該ヘッダーまたは該本文のページサイズを変更することを特徴とする請求項 5 記載のインターネットファクシミリ通信方法。

【請求項 7】 前記ヘッダーおよび前記本文が同一ページに収まるかの判断を行った後、前記分割を行うことを特徴とする請求項 5 記載のインターネットファクシミリ通信方法。

【請求項 8】 前記判断は、前記ヘッダー及び前記本文の行数をカウントして行うことを特徴とする請求項 7 記載のインターネットファクシミリ通信方法。

【請求項 9】 少なくともインターネット網と電話網に接続し、受信した電子メールを指定されたファクシミリ装置にファックス送信する機能を有するインターネットファクシミリ通信装置において、

ヘッダーと本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割する分割手段を具備することを特徴とするインターネットファクシミリ通信装置。

【請求項 1 0】 前記ヘッダーおよび前記本文のページサイズを前記添付ファイルのページサイズに変更するページサイズ変換手段を具備することを特徴とする請求項 9 記載のインターネットファクシミリ通信装置。

【請求項 1 1】 前記ヘッダー、前記本文、前記添付ファイルのページサイズを、予め定められたページサイズに変更するページサイズ変換手段を具備することを特徴とする請求項 9 記載のインターネットファクシミリ通信装置。

【請求項 1 2】 少なくともインターネット網と電話網に接続し、受信した電子メールを指定されたファクシミリ装置にファックス送信する機能を有するインターネットファクシミリ通信装置において、

ヘッダー及び本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割する分割手段を具備することを特徴とするインターネットファクシミリ通信装置。

【請求項 1 3】 前記ヘッダー及び前記本文が同一のページに収まるように、該ヘッダーまたは該本文のページサイズを変更するページサイズ変換手段を具備することを特徴とする請求項 1 2 記載のインターネットファクシミリ通信装置。

【請求項 1 4】 前記ヘッダー及び前記本文が同一ページに収まるかの判断を行う判断手段をさらに具備し、

前記ヘッダー及び前記本文が収まると判断されると、前記ヘッダー及び前記本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割することを特徴とする請求項 1 2 記載のインターネットファクシミリ通信装置。

【請求項 1 5】 前記ヘッダー及び前記本文の行数をカウントするカウント手

段をさらに具備し、

前記判断手段の判断は、前記カウント手段を用いて行うことを特徴とする請求項 1 4 記載のインターネットファクシミリ通信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネットファクシミリ通信装置及びその方法に関し、特に、受信した電子メール（以下、「E-mail」という）を指定されたファクシミリ（以下、「FAX」という）に転送するインターネットファクシミリ通信装置及びその方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットの急速な普及に伴い、インターネットファクシミリ（以下、「インターネットFAX」という）装置が見られるようになってきた。

【0003】

通常のFAX送信では、紙面に記載されている文書をFAX装置で読み取らせ、電話回線網を経由して送信先のFAX装置に読み取った文書を送信しているのに対して、インターネットFAX装置では、インターネット網に接続することが可能なパソコンなどから、E-mailとして送信先のインターネットFAX装置に文書等を送信する。

【0004】

このため、相手先に送信する文書をパソコンなどからプリントアウトすることなく相手先のインターネットFAX装置に送信でき、また、インターネット網を利用するため、相手先が離れている場合には、通信費を抑えることができる。

【0005】

ここで、インターネットFAX装置の機能には、E-mailとして受信した文書等を指定されたFAX装置にFAX送信するE-mail to FAX Gatewayという機能がある。この機能では、インターネットFAX装置が受信したE-mailを送信先のFAX装置にFAX送信するため、送信先のF

A X装置では、インターネットFAXに対応しているか否かに係わらず、受信した文書等を印刷出力することができる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、従来のE-mail to FAX Gateway機能を搭載するインターネットFAX装置では、図10に示すように、E-mail (SMTP) のヘッダー(901)とメール本文(902)と文書や画像である添付ファイルの内容(903)とを連続した紙面に記載されているものとみなして指定されたFAX装置にFAX送信するため、ページの区切りが無く、送信先のFAX装置で印刷出力された文書が非常に読みづらいという問題があった。

【0007】

そこで本発明では、送信先のFAX装置で印刷出力された文書が読みやすいように、受信したE-mailをFAX送信することが可能なインターネットファクシミリ通信装置及びその方法を提供する。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明のインターネットファクシミリ通信方法では、受信したE-mailのヘッダー、本文、添付ファイルの内容を、指定されたファクシミリ通信装置にFAX送信するE-mail to FAX Gateway機能において、ヘッダーと本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割して、転送先にFAX送信する。

【0009】

この構成では、転送先のFAX装置で、ヘッダー、本文、添付ファイルの内容が異なるページに印刷出力されるため、読みやすい形式で文書を相手先に送信することができる。

【0010】

また、前記ヘッダーおよび前記本文のページサイズを、前記添付ファイルのページサイズに変更することにより、各ページを統一したページサイズで印刷出力できるため、より読みやすい形式とすることができる。

【0011】

ここで、複数のファイルが添付されている際には、最初の該添付ファイルのページサイズに、前記ヘッダー、前記本文、他の前記添付ファイルのページサイズを変更することで、各ページを統一したページサイズで印刷出力できるため、より読みやすい形式とすることができる。

【0012】

なお、前記ヘッダー、前記本文、前記添付ファイルのページサイズを、予め定められたページサイズに変更するように構成することもできる。

【0013】

また、本発明のインターネットファクシミリ通信方法では、受信した E-mail のヘッダー、本文、添付ファイルの内容を、指定されたファクシミリ通信装置に FAX 送信する E-mail to FAX Gateway 機能において、ヘッダーおよび本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割して、転送先に FAX 送信する。

【0014】

この構成では、添付ファイルの付加情報であるヘッダー及び本文を同一ページとすることで、読みやすかつ情報量を抑えた形式で、FAX 送信することができる。

【0015】

ここで、前記ヘッダー及び前記本文が同一のページに収まるように、該ヘッダーまたは該本文のページサイズを変更することで、ヘッダーや本文のページサイズに関係なく、ヘッダーと本文を同一ページに収めることができる。

【0016】

また、前記ヘッダーおよび前記本文が同一ページに収まるかの判断を行った後、前記分割を行うことにより、ヘッダー及び本文のページサイズを変更する必要がない場合のみ、ヘッダーと本文を同一ページに収めることができる。

【0017】

ここで、前記判断は、前記ヘッダー及び前記本文の行数をカウントして行うこともできる。

【0018】

次に、本発明のインターネットファクシミリ通信装置では、E-mail to FAX Gateway機能において、ヘッダーと本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割する分割手段を具備する。

【0019】

この構成では、転送先のFAX装置で、ヘッダー、本文、添付ファイルの内容が異なるページに印刷出力されるため、読みやすい形式で文書を相手先に送信することができる。

【0020】

また、前記ヘッダーおよび前記本文のページサイズを前記添付ファイルのページサイズに変更するページサイズ変換手段を具備することにより、各ページを統一したページサイズで印刷出力できるため、より読みやすい形式とすることができる。

【0021】

さらに、前記ヘッダー、前記本文、前記添付ファイルのページサイズを、予め定められたページサイズに変更するページサイズ変換手段を具備することにより、常に決まったページサイズでFAX送信を行うことができる。

【0022】

また、本発明のインターネットファクシミリ通信装置では、E-mail to FAX Gateway機能ヘッダー及び本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割する分割手段を具備する。

【0023】

この構成では、添付ファイルの付加情報であるヘッダー及び本文を同一ページとすることで、読みやすかつ情報量を抑えた形式で、FAX送信することができる。

【0024】

また、前記ヘッダー及び前記本文が同一のページに収まるように、該ヘッダーまたは該本文のページサイズを変更するページサイズ変換手段を具備することにより、ヘッダーや本文のページサイズに関係なく、ヘッダーと本文を同一ページ



に収めることができる。

【 0 0 2 5 】

また、前記ヘッダー及び前記本文が同一ページに収まるかの判断を行う判断手段をさらに具備し、前記ヘッダー及び前記本文が収まると判断されると、前記ヘッダー及び前記本文と添付ファイルの内容とを異なるページに印刷出力されるように分割することにより、ヘッダー及び本文のページサイズを変更する必要がない場合のみ、ヘッダーと本文を同一ページに収めることができる。

【 0 0 2 6 】

ここで、前記ヘッダー及び前記本文の行数をカウントするカウント手段をさらに具備し、前記判断手段の判断は、前記カウント手段を用いて行うこともできる。

【 0 0 2 7 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係わるインターネットファクシミリ通信装置の実施の形態を添付図面を参照して詳細に説明する。

【 0 0 2 8 】

図 1 は、本発明に係わるインターネット F A X 装置の全体構成を示す概念図であり、図 2 は、本発明に係わるインターネット F A X 装置の全体構成を示す概略ブロック図である。

【 0 0 2 9 】

図 1 において、このインターネット F A X 装置 3 0 0 は、パソコン 1 0 0 などから L A N 回線やインターネット網 2 0 0 を介して受信した E - m a i l を、指定された F A X 装置 5 0 0 に電話回線網 4 0 0 を介して F A X 送信するように構成されるもので、図 2 に示すように、このインターネット F A X 装置 3 0 0 には、インターネット F A X 装置全体の制御処理を行う中央演算処理装置（C P U）1、インターネット F A X 装置上の情報を記憶する記憶装置 2、タッチパネル等から成り、使用者がこの装置を操作するために使用する操作表示装置 3、送信原稿を読み取る読取装置 4、受信した画像情報等を印刷出力する印字装置 5、画像情報を符号化、複合化、拡大縮小等を行う画像処理装置 6、受信あるいは読み取

った画像情報を格納する画像蓄積装置 7、インターネット F A X 装置全体を制御するためのプログラムを有するシステム制御部 8、デジタル網またはアナログ網に適した通信制御を行うためのプログラムを有する通信制御部 9、複数の外部回線インターフェイスと複数の内部通信回路を切り替え接続する回線切替制御装置 11、網に接続するため制御を行う網制御装置 12、ネットワークに接続する通信を制御するネットワーク制御部 13 が、相互に情報交換を行うためのシステムバス 15 を介して接続され、さらに変復調装置であるモデム 10、E t h e r n e t に接続するための I / F である E t h e r n e t I / F 14 が設けられる。

#### 【0030】

この構成において、インターネット F A X 装置が E t h e r n e t I / F 14 からネットワーク制御部 13 を経由して E - m a i l を受信すると、記憶装置 2 をバッファとして用い、画像処理装置 6 を必要に応じて使いつつ、システム制御部 8 で処理を行い、E - m a i l 中の画像や本文を F A X 通信に適した形式に変換し、通信制御部 9、モデム 10、回線切替制御装置 11、網制御装置 12 を介して電話網に F A X 送信する。

#### 【0031】

図 3 は、上記インターネット F A X 装置における動作を示すフローチャートである。

#### 【0032】

図 3 において、インターネット F A X 装置が E t h e r n e t I / F、ネットワーク制御部を経由して E - m a i l を受信する（ステップ 301）と、受信した E - m a i l について、システム制御部で E - m a i l t o F a x G a t e w a y 機能を用いるかの判断を行う（ステップ 302）。この判断は、例えば「F A X = + 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 @ X X X . c o . j p」といったように、E - m a i l のアドレスに転送先の F A X 装置の電話番号（01-2345-6789）を記す方法や、E - m a i l のサブジェクトに電話番号を記す方法など、転送の指示を示す方法を予め定め、受信した E - m a i l に転送の指示に関する情報が含まれているかで判断を行う。

## 【 0 0 3 3 】

そして、E-mail to Fax Gateway機能を用いる（ステップ302でYES）と判断すると、図4に示すようにE-mail900を、例えば1ページ目にヘッダー911、2ページ目に本文912、3ページ目に添付ファイルの内容913というように、異なるページにそれぞれが記載されているとみなして分割（ステップ303）する。

## 【 0 0 3 4 】

ここで、分割されたE-mailの形式を画像処理装置でFAX送信用に変換し（ステップ304）、指定された転送先のFAX装置にFAX送信する（ステップ305）。

## 【 0 0 3 5 】

本実施の形態では、E-mailをEthernetを経由して受信しているが、Ethernet I/Fに代えてモデム等を設置し、インターネット回線からE-mailを直接受信するように構成することもできる。

## 【 0 0 3 6 】

また、ファイルが複数添付されている場合には、各ファイルを異なるページとして分割することもできる。

## 【 0 0 3 7 】

また、添付ファイルの形式にインターネットFAX装置が対応してない場合には、その旨をファイル名と共に指定されたFAX装置に送信し、添付ファイルのページとして印刷出力するように構成することもできる。

## 【 0 0 3 8 】

次に、第2の実施の形態では、E-mailのヘッダー、本文、添付ファイル添付ファイルに収められている添付文書のサイズに合わせてE-mailのヘッダー及び本文のサイズを変換した後、FAX送信用の形式ファイルに各ページを変換する。

## 【 0 0 3 9 】

図5は、本実施の形態におけるインターネットFAX装置の動作を示すフローチャートである。

【0040】

図5において、インターネットFAX装置がE-mailを受信する（ステップ311）と、受信したE-mailについて、システム制御部でE-mail to Fax Gateway機能を用いるかの判断を行い（ステップ312）、E-mail to Fax Gateway機能を用いる（ステップ312でYES）と判断すると、ヘッダー、本文、添付文書を異なるページにそれぞれが記載されているとみなして分割（ステップ313）する。

【0041】

ここで、添付文書のページサイズを検出（ステップ314）し、ヘッダー及び本文のページサイズなどを添付文書のページサイズに合わせて変換する（ステップ315）。

【0042】

そして、ページサイズが変換された各ページの形式を画像処理装置でFAX送信に変換し（ステップ316）、指定された転送先のFAX装置にFAX送信する（ステップ317）。

【0043】

本実施の形態では、添付文書のサイズに合わせてヘッダー及び本文のサイズを変換しているが、変換するサイズを予めA4サイズなどに定めることで、添付文書のサイズ等に係わらず、決められたサイズにヘッダー、本文、添付文書のサイズを変換することもできる。

【0044】

また、複数のファイルが添付されている場合には、最初に添付されている添付文書のサイズを検出し、残りの添付文書のサイズもヘッダーや本文と同様に検出したサイズに合わせて変換することで、添付ファイルが複数の場合であっても、十分に対応することができる。

【0045】

第3の実施の形態では、図6に示すように、E-mailのヘッダー及び本文921と添付ファイル922とを異なるページとみなして、分割、変換を行う。

【0046】

図 7 は、本実施の形態におけるインターネット F A X 装置の動作を示すフローチャートである。

【 0 0 4 7 】

図 7 において、インターネット F A X 装置が E - m a i l を受信する（ステップ 3 2 1）と、受信した E - m a i l について、システム制御部で E - m a i l t o F a x G a t e w a y 機能を用いるかの判断を行い（ステップ 3 2 2）、E - m a i l t o F a x G a t e w a y 機能を用いる（ステップ 3 2 2 で Y E S）と判断すると、ヘッダー及び本文の行数をカウントする（ステップ 3 2 3）。

【 0 0 4 8 】

ここで、ヘッダー及び本文が 1 ページに収まると判断（ステップ 3 2 4 で Y E S）すると、ヘッダーと本文を同一ページ、添付ファイルを異なるページとみなして分割（ステップ 3 2 5）し、また、ヘッダー及び本文が 1 ページに収まらないと判断（ステップ 3 2 4 で N O）すると、ヘッダー、本文、添付ファイルを異なるページとみなして分割（ステップ 3 2 6）する。

【 0 0 4 9 】

そして、分割された各ページの形式を画像処理装置で F A X 送信用に変換し（ステップ 3 2 7）、指定された転送先の F A X 装置に F A X 送信する（ステップ 3 2 8）。

【 0 0 5 0 】

なお、ヘッダー及び本文が 1 ページに収まるかの判断は、予め基準とする行数を設定する方法や、ヘッダー及び本文のページサイズを基準として設定する方法で、判断することができる。

【 0 0 5 1 】

第 4 の実施の形態では、図 8 に示すように、E - m a i l のヘッダーのページと本文のページを同一のページ 9 3 1 として印刷出力できるように分割、変換を行う。

【 0 0 5 2 】

図 9 は、本実施の形態におけるインターネット F A X 装置の動作を示すフロー

チャートである。

【0053】

図9において、インターネットFAX装置がE-mailを受信する（ステップ331）と、受信したE-mailについて、システム制御部でE-mail to Fax Gateway機能を用いるかの判断を行い（ステップ332）、E-mail to Fax Gateway機能を用いる（ステップ332でYES）と判断すると、ヘッダー、本文、添付文書を異なるページにそれぞれが記載されているとみなして分割（ステップ333）する。

【0054】

ここで、ヘッダーのページと本文のページが1ページに収まるように、各ページのサイズを変化させ、ヘッダーのページと本文のページを1ページに合成する（ステップ334）。なお、ヘッダー及び本文を収めるページのサイズは、添付文書のページサイズに合わせる方法や、A4などのページサイズを予め定めておく方法などで設定する。

【0055】

そして、各ページの形式を画像処理装置でFAX送信用に変換し（ステップ335）、指定された転送先のFAX装置にFAX送信する（ステップ336）。

【0056】

【発明の効果】

本発明では、E-mailのヘッダー、本文、添付ファイルを異なるページとして転送先のFAX装置にFAX送信するため、各内容ごとに区切られた読みやすい文書の形式で送信先に文書を提供することができる。

【0057】

また、添付ファイルの付加情報程度であるヘッダーおよび本文を同一ページにまとめることで、読みやすかつ情報量を抑えたFAX送信を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明におけるインターネットFAX装置の全体構成を示す概念図

【図2】 本発明におけるインターネットFAX装置の全体構成を示す概略プロ

ック図

【図 3】第 1 の実施の形態におけるインターネット F A X 装置の動作を示すフローチャート

【図 4】第 1 の実施の形態における E - m a i l の分割を示す模式図

【図 5】第 2 の実施の形態におけるインターネット F A X 装置の動作を示すフローチャート

【図 6】第 3 の実施の形態における E - m a i l の分割を示す模式図

【図 7】第 3 の実施の形態におけるインターネット F A X 装置の動作を示すフローチャート

【図 8】第 4 の実施の形態における E - m a i l の分割を示す模式図

【図 9】第 4 の実施の形態におけるインターネット F A X 装置の動作を示すフローチャート

【図 1 0】従来技術における印刷出力例

【符号の説明】

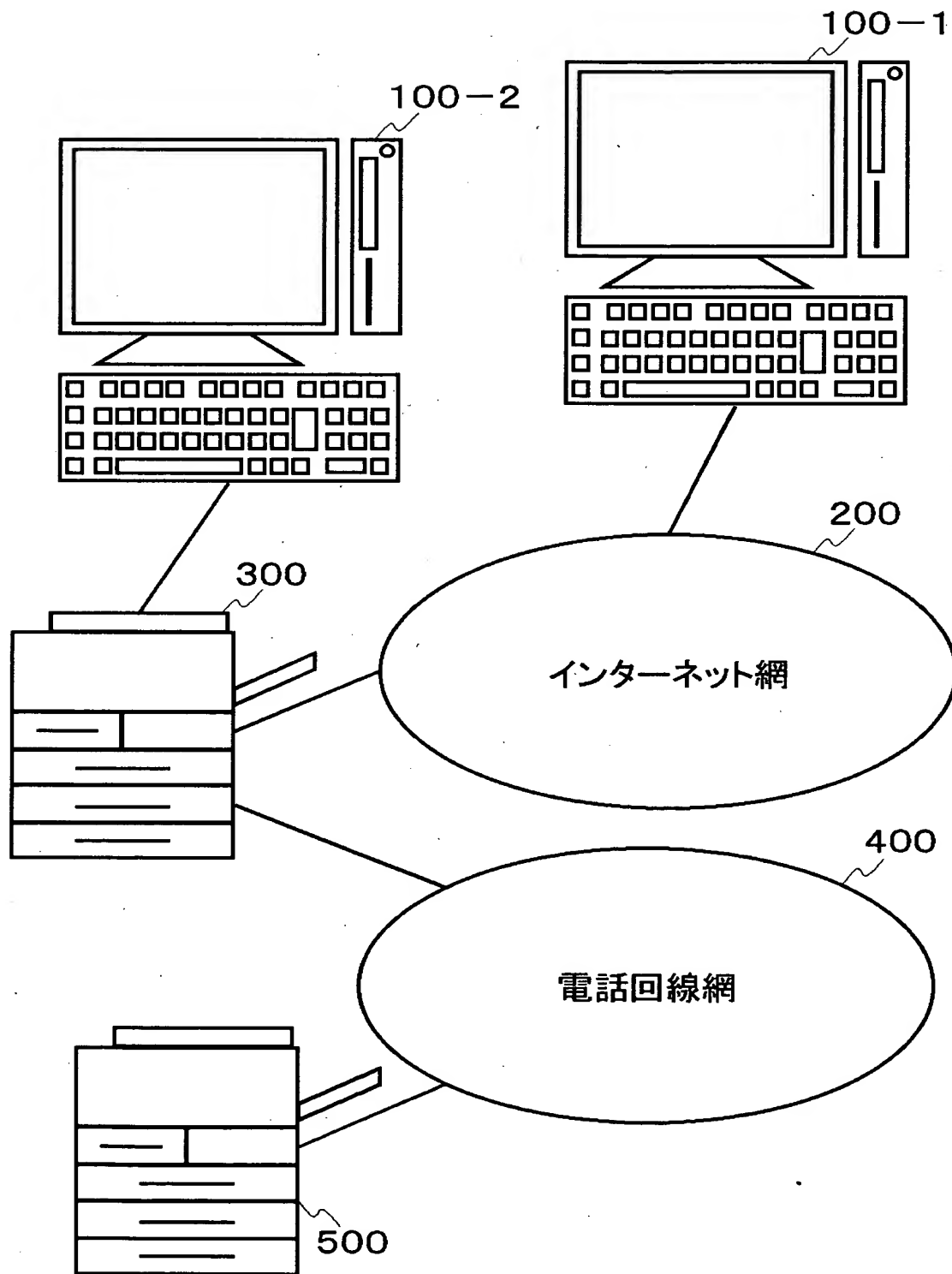
- 1 … 中央演算処理装置 ( C P U )
- 2 … 記憶装置
- 3 … 操作表示装置
- 4 … 読取装置
- 5 … 印字装置
- 6 … 画像処理装置
- 7 … 画像蓄積装置
- 8 … システム制御部
- 9 … 通信制御部
- 1 0 … モデム
- 1 1 … 回線切替制御装置
- 1 2 … 網制御装置
- 1 3 … ネットワーク制御部
- 1 4 … E t h e r n e t    I / F
- 1 5 … システムバス

- 100…パソコン
- 200…インターネット網
- 300…インターネットファクシミリ（インターネットFAX）装置
- 400…電話回線網
- 500…ファクシミリ（FAX）装置
- 900…E-mail
- 911…ヘッダーページ
- 912…本文ページ
- 913…添付ファイルページ
- 921、931…ヘッダー・本文ページ
- 922、932…添付ファイルページ

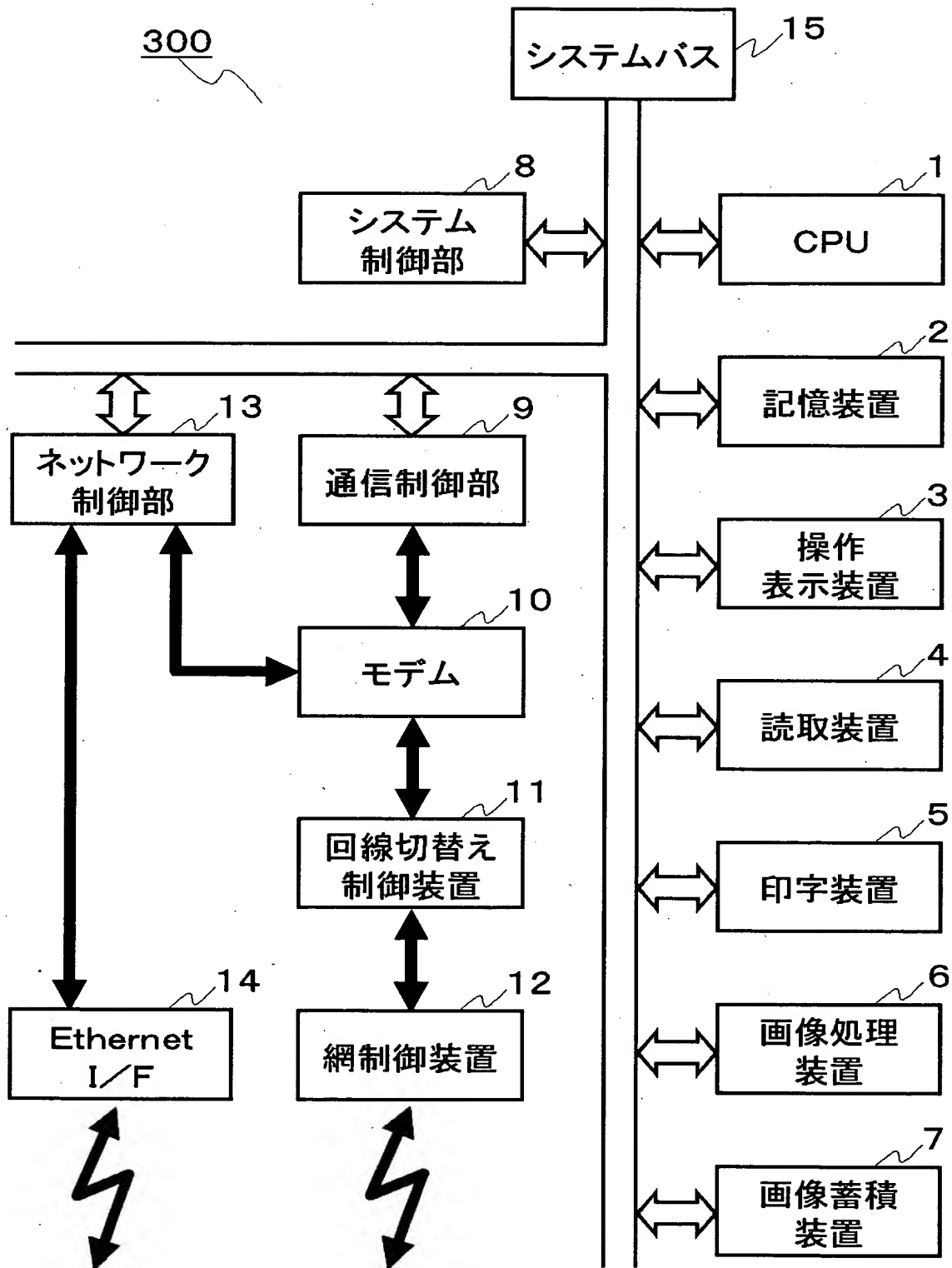


【書類名】 図面

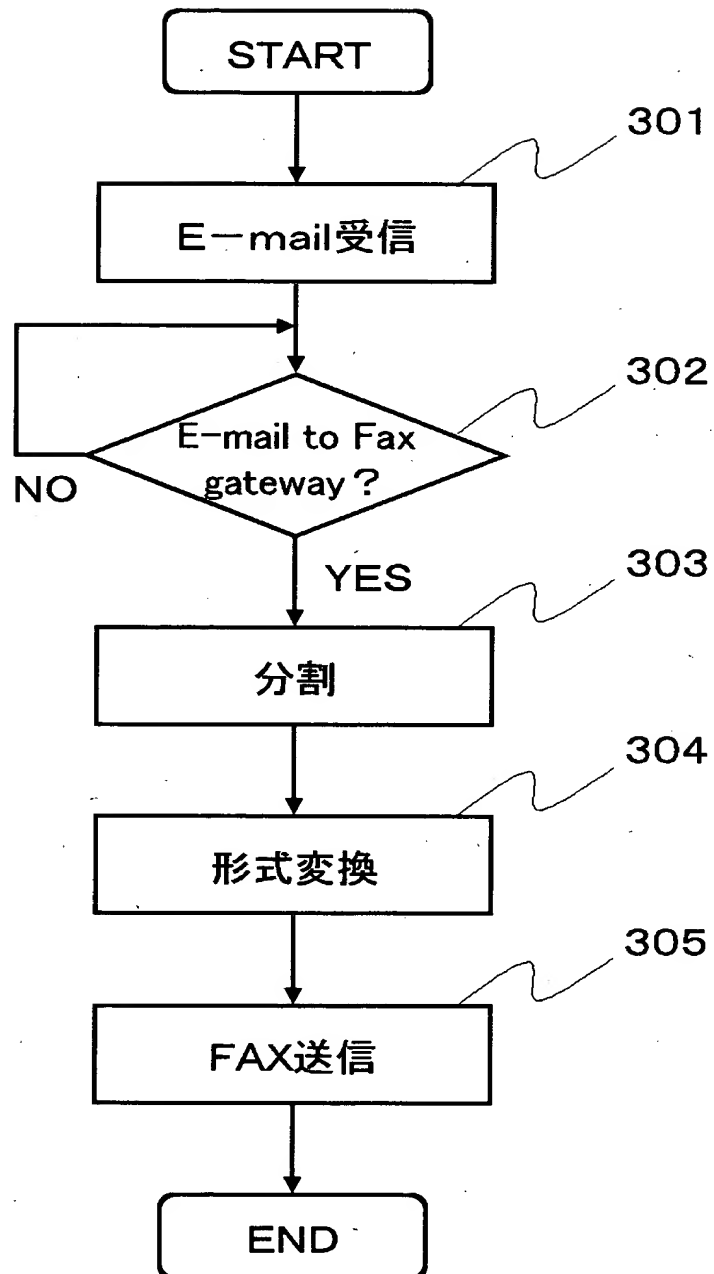
【図 1】



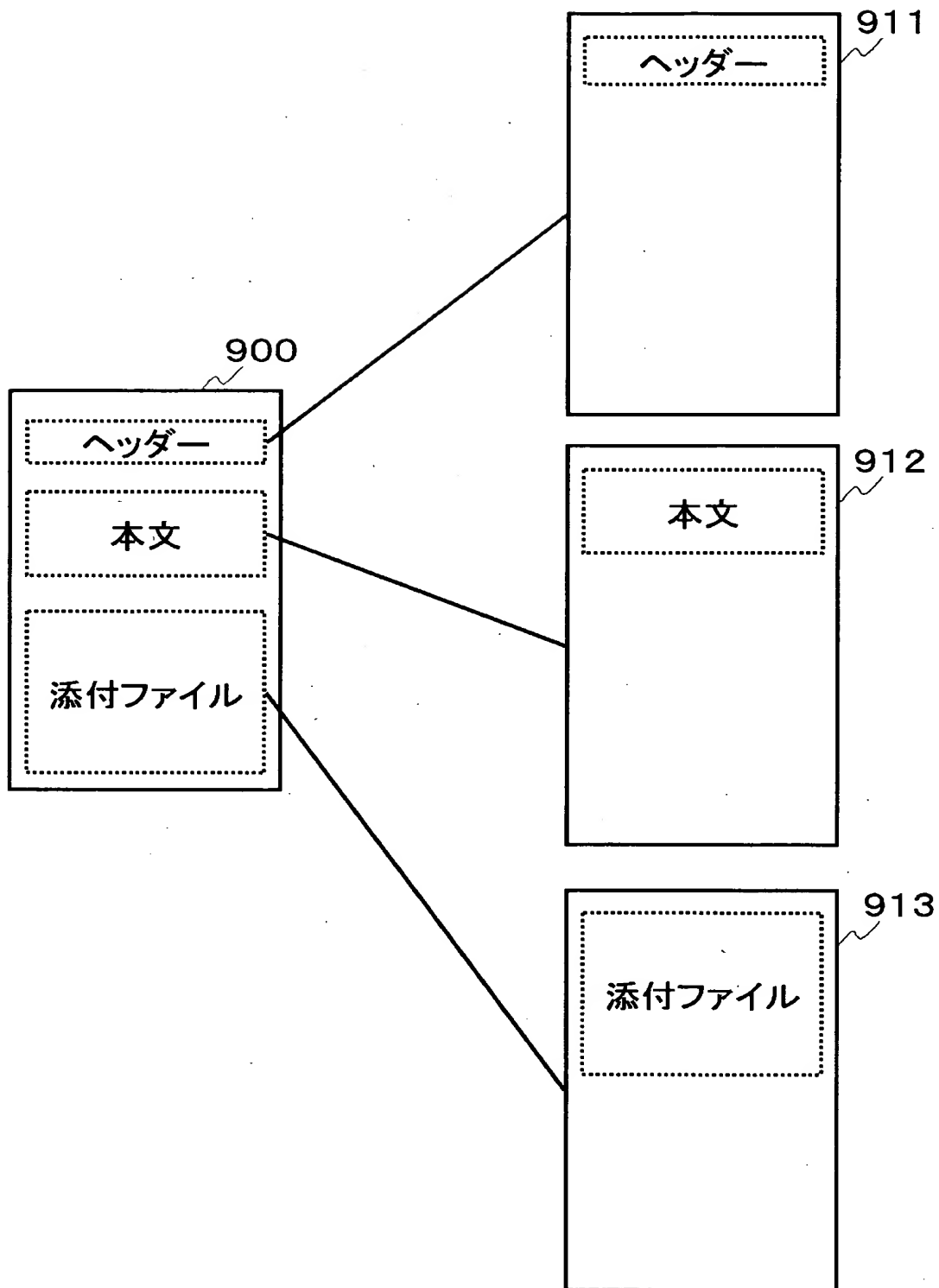
【図 2】



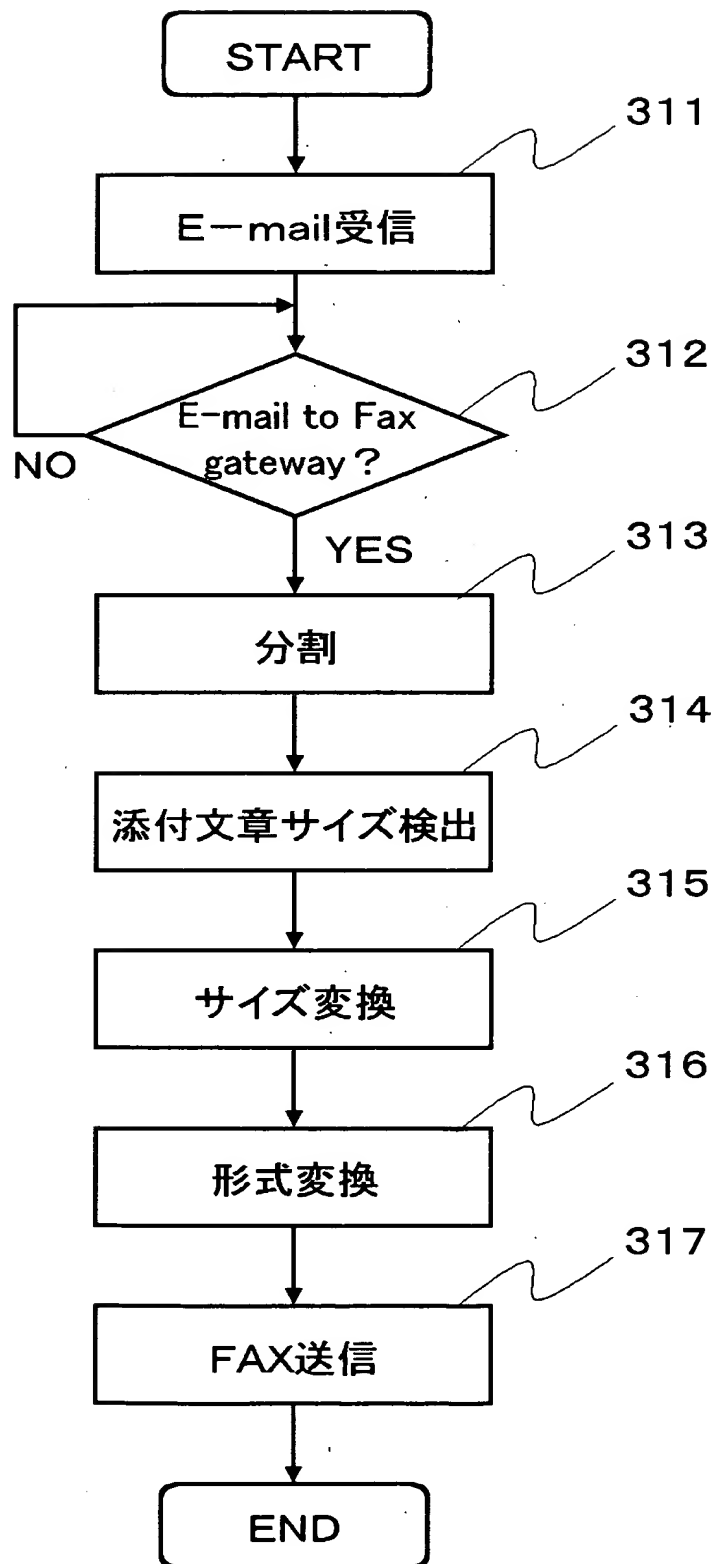
【図 3】



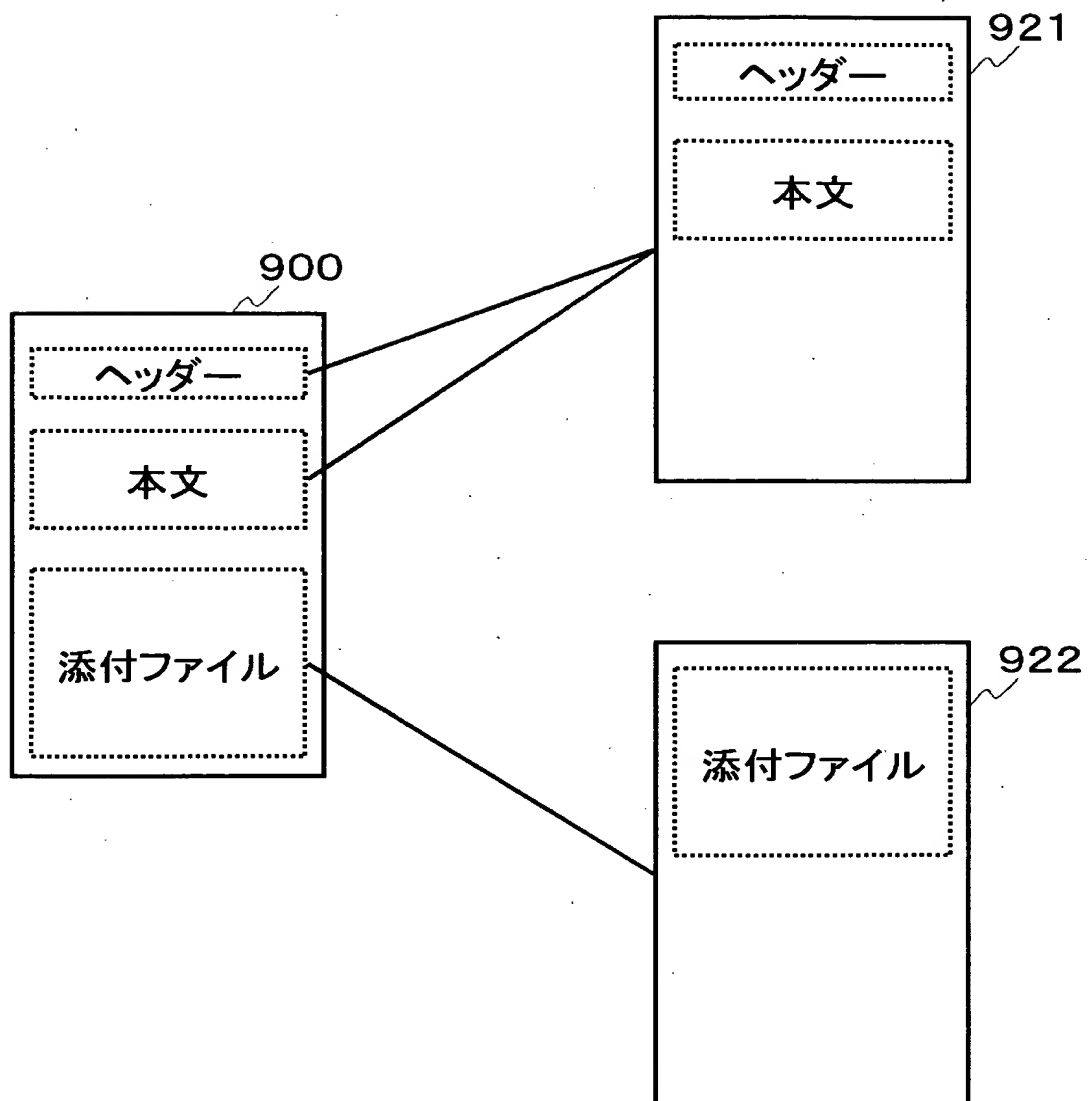
【図4】



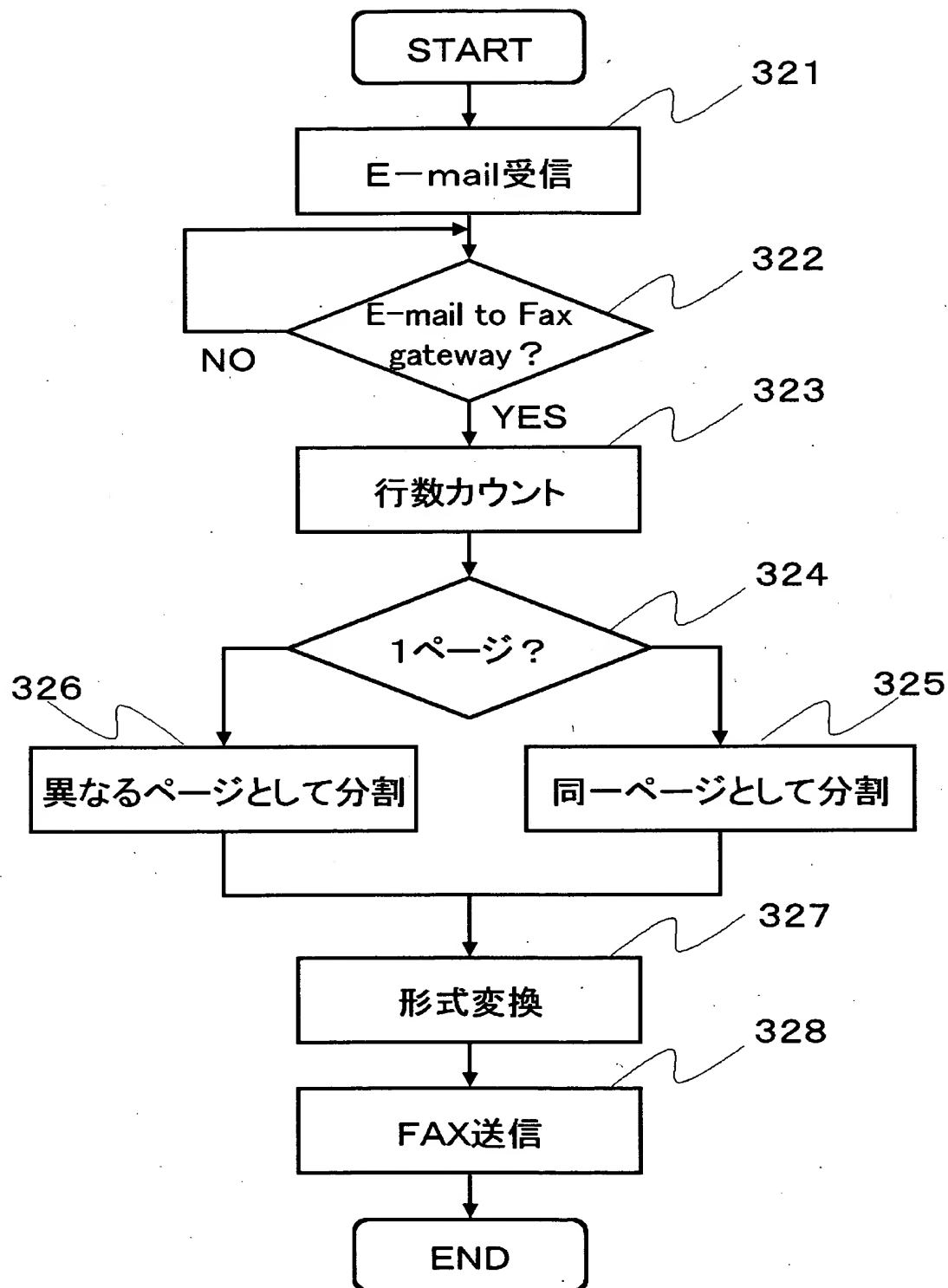
【図5】



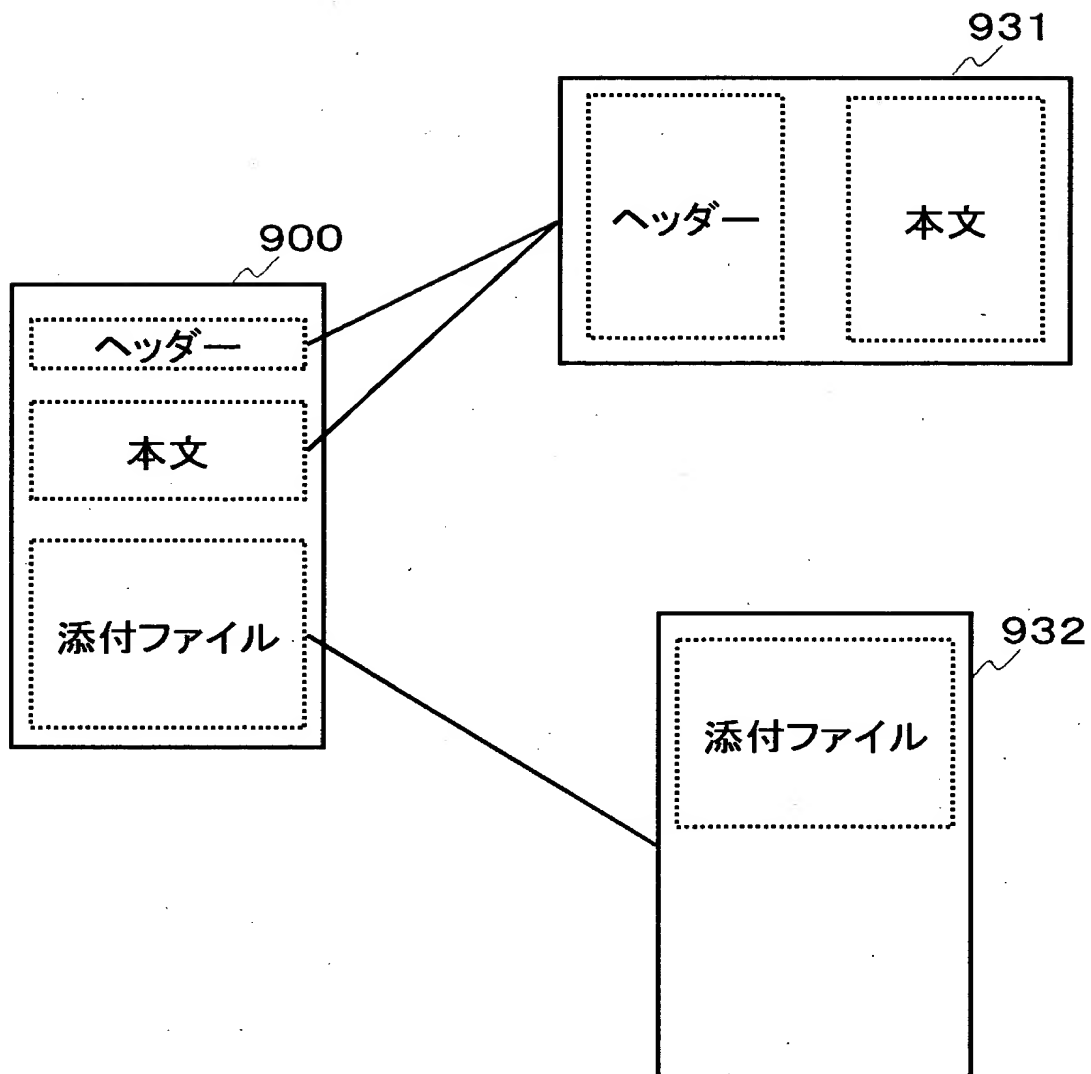
【図 6】



【図7】

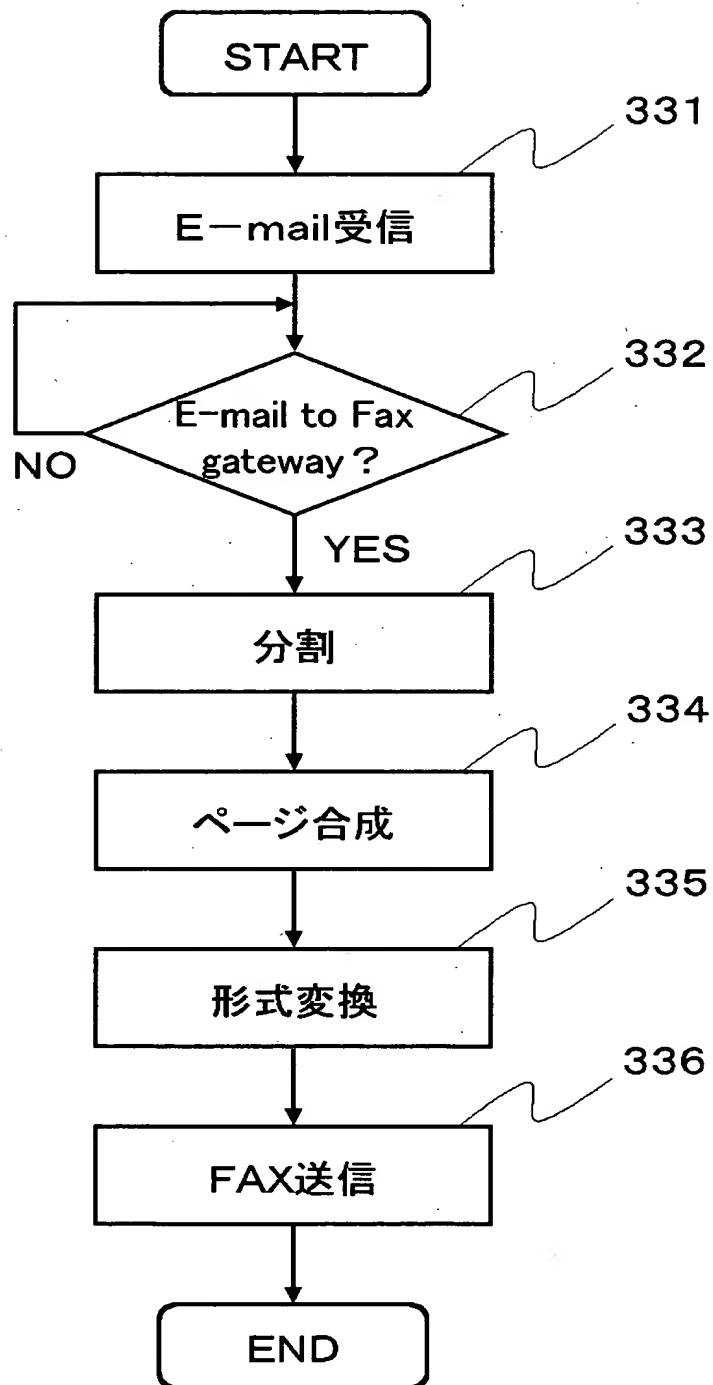


【図 8】





【図9】



【図 10】

900

Subject: 見積書  
Date: Wed, 01 Nov 2000 12:00:00 +0900  
From: A社 営業部 山田 <XXXXXX@XXX.co.jp>  
To: B社 総務部 FAX <FAX=+0123456789@\*\*\*.co.jp>

901

B社 総務部  
山本 様

A社 営業部 山田

貴社益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先日御依頼がありました商品の御見積書をお送りいたします。

御査収のほどよろしくお願いします。

---

Name: mitsumori.htm  
Type: Hypertext Markup Language (text/html)  
Encoding: base64  
Description: Internet HTML

902

御見積書

B社 御中

平成12年11月1日


903

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

本発明では、送信先の F A X 装置で印刷出力された文書が読みやすいように、受信した E - m a i l を F A X 送信することが可能なインターネットファクシミリ通信装置及びその方法を提供する。

【解決手段】

E - m a i l を、ヘッダー、本文、添付ファイルがそれぞれ異なったページに記載されていると見なして F A X 形式に変換し、指定されたファクシミリ通信装置に送信する。

【選択図】 図 4

特 2 0 0 0 - 3 8 5 8 5 2

認 定 ・ 付 加 情 報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 3 8 5 8 5 2
受付番号	5 0 0 0 1 6 3 8 8 2 7
書類名	特許願
担当官	第三担当上席 0 0 9 2
作成日	平成 1 2 年 1 2 月 2 0 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年12月19日
-------	-------------

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005496]

1. 変更年月日	1996年 5月29日
[変更理由]	住所変更
住 所	東京都港区赤坂二丁目17番22号
氏 名	富士ゼロックス株式会社